

【提出様式】

# まちづくり交付金の事前評価チェックシート

地方整備局名 北陸地整 都道府県名 富山県 市町村名 射水市 地区名 小杉地区

## I. 目標の妥当性

チェック欄

①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。 (該当するものに○) ① 中心市街地活性化 2. 防災 3. 少子高齢化 ④ 人口定着 ⑤ 観光・交流 ⑥ アメニティ 7. 交通利便性 8. 都市活力 9. 地域コミュニティ 10. その他	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。 (該当するものに○) ① 市町村総合計画 2. 都道府県長期計画 3. 都市再生緊急整備地域 4. 構造改革特別区域 5. 地域再生計画 6. 全国都市再生モデル調査 7. 被災市街地 ⑧ 中心市街地活性化計画 9. その他	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標を設定している。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。	○

## II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○

## III. 計画の実現可能性

⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

## センター施設必要性(既存建造物活用)

様式5

都道府県	富山県	市町村	射水市		
地区名	小杉地区				
センター施設の名称	竹内源造記念館				
事業費(百万円)	56	延べ床面積(m <sup>2</sup> )	668.42		
事業期間	H24~H25				
年度計画(百万円)	H24:37(改築) H25:19(改築)				
事業の熟度	概略設計済み	改修等	○	購入	
従前施設の主な用途	考古資料常設展示、埋蔵文化財整理作業室、埋蔵文化財調査事務所、雑庫				
従前施設の建設年	昭和9年				
新施設の主な用途	情報発信スペース、交流スペース ・鍍絵の街づくりの核及び地元とビジターの交流施設、文化、歴史的情報の発信スペース				
支援対象	外装復元、情報発信スペース、交流スペース、駐車場				
必要性等	竹内源造の作品が遺存する貴重な歴史的建造物(築75年)を建築当初の姿に近づける改修・復元を行い、保存活用を図っていく。また、鍍絵の街づくりの核及び、一部用途を変更し観光情報の発信の場となる施設として新たに位置づけ、鍍絵資料の発掘や鍍絵実習体験教室などを通して、地元とビジターの交流施設としての情報発信に更に進める。				
利用見込み	・同館は第一期まちづくり交付金事業で整備した下条川散策路や旧北陸道エリアに位置することから、街道沿いの社寺仏閣・史跡・文化財など小杉地区の歴史的な情報を積極的に発信し、文化の薫り高い街づくりの拠点施設として役割も付加したい。				